

# 上田かつよしを育てる会だより

(井原市議会議員 上田勝義の思い、活動を、お知らせする広報紙です)

## 18.3 議会質問

### 1. 教育環境の充実について

- 1) 市内の教育委員会所轄施設の情報化（ハード面）の現状及び学校校内LAN構築の進捗状況について。
- 2) 学校の安全安心の観点からシニアスクールの開設を検討してはどうか。
- 3) 学校運営についての自己評価の実施と公表について。また、学校選択制の採用について。
- 4) 環境教育の一環として学校敷地内へビオトープの整備をしてはどうか。

### 2. 環境対策について

- 1) 家庭ごみの減量化対策、及びごみ収集有料化の実施の見通しについて。
- 2) 家庭ごみの分別収集の現状と容器包装リサイクル法の本市への影響について。
- 3) BDF燃料の井原鉄道への利用について。
- 4) 地球温暖化防止に向けた現在の本市の取り組みと目標達成の見通しについて。

### 3. 行財政改革とまちづくりについて

国の三位一体の改革、県の第3次行財政改革大綱、本市の第4次行政改革大綱と、引き続き行財政改革を強力に推進する必要性に迫られています。今後、国及び県の動向により、どういふ影響が考えられるのか。また、本市としては、行財政改革を推進しながら新井原市のまちづくりをどう進めていくのか。

## 答 弁

### 1. 教育環境の充実について

- 1) 市立高校と中学校では17年度までにすべて完了した。19年度にはすべての小学校で構築できる予定である。
- 2) 全校一斉にというわけにはいかないが、可能な学校から考えていきたい。
- 3) 小、中21校すべての学校で評価を行っている。また、ほとんどの学校が、学校だより、懇談会、参観日等で保護者へ説明、学校評議員会での説明等で公開している。
- 4) 井原市は豊かな自然に囲まれており、ビオトープの整備は考えていない。

### 2. 環境対策について

- 1) 市広報、井原放送、出前講座などを利用し、市民の理解と協力を願う。有料化は理解をしてもらうことが課題である。
- 2) エンジンの耐久性などでBDF導入は難しいと伺っている。
- 3) 二酸化炭素の削減率は、庁舎建設等で基準年度に対し大幅増となっている。新たに井原市役所地球温暖化対策推進実行計画を策定する予定である。

### 3. 行財政改革とまちづくりについて

第4次行政改革大綱集中改革プランに沿って進める。



ももたろう塾で石井塾長(知事)と

## ◆新入学児童生徒数◆

平成18年4月10日現在

	小 学 校																中 学 校					市立高等学校				
	高屋	大江	稲倉	県主	木之子	荏原	西江原	野上	青野	井原	出部	芳井	川相	明治	共和	美星	計	高屋	木之子	井原	芳井	美星	計	昼間	夜間	計
男	20	12	14	9	11	12	25	3	10	16	36	13	1	2	0	13	197	41	48	89	22	16	216	13	6	19
女	22	11	9	7	15	14	21	4	2	25	32	12	0	1	0	26	201	29	50	72	33	25	209	16	1	17
計	42	23	23	16	26	26	46	7	12	41	68	25	1	3	0	39	398	70	98	161	55	41	425	29	7	36

## ◆井原市基礎データ◆

平成18年3月末現在

### ●年代別 人口（外国人含まず）

年代	構成率	人数	うち男	うち女
9才以下	8.2%	3,798	1,978	1,820
10才代	9.9%	4,602	2,330	2,272
20才代	9.5%	4,410	2,308	2,102
30才代	11.3%	5,246	2,676	2,570
40才代	10.9%	5,036	2,531	2,505
50才代	14.8%	6,880	3,505	3,375
60才代	13.3%	6,147	2,887	3,260
70才代	13.3%	6,146	2,733	3,413
80才代	7.2%	3,343	1,138	2,205
90才代	1.6%	756	190	566
100才代	0.0%	16	0	16
計	100.0%	46,380	22,276	24,104

(再掲)

年代	構成率	人数	うち男	うち女
15才未満	12.9%	5,964	3,052	2,912
15~64才	58.5%	27,147	13,769	13,378
65才以上	28.6%	13,269	5,455	7,814
70才以上	22.1%	10,261	4,061	6,200

### ●地区別 世帯及び人口（外国人含まず）

	世帯	人口	うち男	うち女
井原	2,104	5,691	2,611	2,980
出部	2,336	6,658	3,250	3,408
高屋	1,408	3,946	1,923	2,023
大江	737	2,271	1,109	1,162
稲倉	672	2,174	1,051	1,123
木之子	1,124	3,125	1,469	1,656
県主	557	1,706	818	888
荏原	966	2,923	1,418	1,505
野上	199	591	291	300
青野	326	1,060	511	549
西江原	1,716	5,069	2,470	2,599
芳井	1,944	5,785	2,733	3,052
美星	1,765	5,481	2,613	2,868
合計	15,854	46,380	22,276	24,104

外国人	世帯	人口	うち男	うち女
	368	416	81	335

平均年齢

	合計	男	女
	47.5	45.3	49.5

## ☆エッセー☆

小田山を小田川に戻そう。今や地元を流れる小田川の河原には、草木が生い茂り、容易に近づけないし美観的にも優れない。私が子どもの頃には魚とりをしたり泳いだりして遊んでいたし、春には遠来の観光客も交え、河原で車座になり桜土手の花見を楽しんでいたものです。しかし今のような荒れた状態では川の汚れも見えにくいし、川の大切さも理解しにくい。昔のように河原で遊べるようにしたい。住民が集える場所に戻そうということで、河川内のことは何をすることも許可が必要で、まず許可されないだろうという一般論を跳ね返し、地域住民が立ち上がったのです。まず草刈と樹木の伐採、焼却、そして県民局の協力で整地。

やればできる。地域のことは地域の力を合わせて、自らがやる気でやれば意は通じるものだ確信しました。整地された河原の完成を記念した芋煮会には、久しぶりに地元住民の歓声が戻り、今後の集いの場としての展開が楽しみになってきました。

これからこういう活動が市内全域に広がると昔のような小田川が復活するのでしょうか・・・。



小田川下町河原でカヌー

## ◆編集後記◆

2期目の1年間、4回の市議会定例会を無事終えました。何とか議会毎の「たより」も4回発行することが出来ました。3ヶ月に1回の配布も早朝を中心にしています。汗だくで朝ごはん前のシャワーが気持ちいい夏、指先が切ればかりの寒い冬と、季節を肌で感じながら、そして道路、建物の変化に時間の経過を感じながら、毎回の議会質問とともに、これからも続ける努力をしなければと思っています。今後ともご指導をよろしくお願い致します。(上田かつよし)